

非稼働病床の現況について (大阪市北部 基本保健医療圏・病院)

資料 2-4

※過去 1 年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去 1 年間病床が一度も稼働していない有床診療所（非稼働病床という）

【北部】

	医療機関名	所在市区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になつた時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院	大阪市北区	42床	令和 1 年度	西館の取壊しと建替えに伴い、病棟を閉鎖して工事箇所の移転先を確保する必要があるため。	その他		病床の再開場所としては、病院内にある健診センターのスペースを利用する予定である。健診センターは西館へ移転する予定だが、西館は耐震基準を満たさない古い建物であり、利用に際しては取壊しと建替えが必要である。 現在、西館の建替えについてワーキンググループを立ち上げ、具体的な検討を重ねている段階である。病床については再稼働予定であり、西館完成予定時期と同じ2026年（令和8年）以降となる予定である。
2	大阪市立十三市民病院	大阪市淀川区	24床	令和 4 年度	コロナ専門病院の間、全病棟での一般患者の受入を休止した期間を経て、専門病院終了後についても、一般急性期の患者の回復が見込みづらい状況が続いていたことから、医療機能を一般急性期から緩和ケアに転換した。それに伴い、一部を患者控室にするなど、用途変更した病室がある。また緩和ケア担当医師が1名という状況もあり、専門医確保に難渋していることから、56床のうち32床での運用を行っている。	その他		現在、大阪市の中期目標、中期計画の期間中であり、令和10年度までの病床削減等は困難な状況であるが、令和11年度からはじまる次期中期計画を見据え、医療機能の転換を含めた病床数の見直し等も検討していく予定。

非稼働病床の現況について (大阪市北部 基本保健医療圏・診療所)

※過去 1 年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去 1 年間病床が一度も稼働していない有床診療所 (非稼働病床という)

【北部】

	医療機関名	所在市区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になつた時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	医療法人小山医院	大阪市北区	2床	平成 19 年度	本院の入院目的は急性期で転院先が決まらないとき当院にて待機、または短期入院で改善する容態の患者がいないため稼働していない	その他		該当者がいれば稼働する
2	中之島アイセンターCLINIC	大阪市北区	6床	令和 6 年度	経営的に現在、人件費が経営を圧迫しているのが現状です。 特に、病棟のスタッフを採用することで、今以上に人件費および経営を圧迫する事が予想されます。 現在、 ^か 数・患者数は増加傾向にあり、かつ、医療イバ ^カ ドの患者も積極的に受け入れており、 ^か 数・患者数は徐々に増えております。 収支が現在の3,500万円/月から4,000万/月になれば、収支の目途も立つ見込みです。 また平行して、病棟、夜間スタッフを募集していますが、まだ、集まつていない状況です。	再稼働する。	翌々年度中	2026年中には海外の患者も増えると想定され、4,000万/月の売上を達成できると想定しています。 2027年には、入院患者の受け入れも可能であると考えています。